

例会報告 Rotary



2022-2023年度
RIテーマ

第2700回例会
令和5年4月7日

●例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
●例会場 高山市花里町3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行高山支店 4F

●会長 垣内 秀文
●幹事 大村 貴之
●会報委員長 中島 一成

イマジン
ロータリー

お祝い・会員スピーチ

<会長の時間>

私事で大変恐縮ではございますが昨年末に嫁に行った娘が無事に男児を出産してから、3か月が過ぎ先月宮参りを済ませました。当時を思い起こすと出産予定日を過ぎても10日余り孕もないうまま、その日夜遅くまで我が家で寛いでいた娘でした。が帰宅したので間もなく就寝しました。そして明朝いつものよう起床して新聞を見ていると、視界に入るスマホがいつにもなくパカパカ点滅！就寝中の通知は常にオフにしていたので、大量のライン通知にビックリ！聞いてみると、娘は昨夜帰宅した2時間後に陣痛が始まり格闘すること1時間ほどの超安産だったらしいです。「あなた方が気持ち良く熟睡している間、私たちはこんなに頑張りました」と嫌味とも取れるメッセージと一緒に沢山の写真が送られ、心朗らかにしてくれました。この時はさすがに「生んでくれて、そして生まれてきてくれてありがとう！世界安心安全出産国第一位の日本に住んで本当によかった」と素直に実感した瞬間でした…ということまで前置きが長くなりましたが、今月はロータリーの母子の健康月間ですので宜しくお願いします。

「出産は命がけ」と言われる通り、世界では出産を通して死亡する母親や子どもは少なくありません。この妊産婦・子どもの死亡率は、医療環境や衛生環境などで大きく変わることがわかっています。そのため世界では出産による死亡をなくそうと様々な取り組みが行われています。

SDGsの数あるゴールの中でターゲット3が「あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」とあり、国際的に妊産婦・子どもの死亡率を減らすことが掲げられています。その一つにWHOの発表によると、世界の妊産婦の死亡は年間約30万人であり、妊産婦死亡率は0.216%で有ることが分かっており、毎日約830人が出産により死亡している計算になります。最も死亡率が高い西アフリカのシエラレオネという国で1.36%、次いで中央アフリカ共和国0.88%、チャド0.85%、ナイジェリア0.81%と後に続きます。開発途上国における妊娠・出産が、いかに危険なのが伺え、妊産婦の死亡率を2030年までに、10万人当たり70人未満の0.07%に削減することを目指しています。

また出産後は年間約590万人の子供が5歳未満で亡くなっており、そのうち生後1か月以内の新生児が半分を占めています。死因の多くは予防や治療が可能な出産時の合併症や感染症です。またアフリカの新生児死亡率は、高所得国の9倍にもなっており、貧富の差が死亡率に大きな影響を与え妊産婦や小さな子供の死亡の多くは開発途上国で起きています。その主な死亡理由として、若すぎる出産・家族計画の不足・医療環境と保健サービスの未発達・感染症対策の遅れ等が挙げられます。

出産リスクが高い青年期(10~19歳)の出生が多いことが国連広報センターから報告されており、開発途上国では年間730万人の18歳未満の少女が出産、そのうち15歳未満が200万人、そして年間7万人の少女が妊娠と出産の合併症によって亡くなっており、女性の身分の低さや、児童婚が合法化されおり、極度の貧困による圧力などが要因とされています。

先ほども申しましたが家族計画が広がらないことは、母子の健康が損なわれる一因になっています。家族計画とは「カップルが

出産のタイミングや子どもの数を考え、自発的に妊娠・出産を計画すること」を意味し、そのために必要な性と生殖に関する健康を守るサービスや、避妊・受胎促進に関する性教育も含まれます。特に貧困地域では家族計画に関する、人工中絶や妊婦健診などが不足しており、身分の低い女性が教育や医療ケアを受けられない現状があります。

日本では、1948年にそれまで使われていた妊産婦手帳と乳幼児体力手帳が統合され母子手帳の活用が始まり、今では母子の死亡が最も少ない国の一つになっています。多くの開発途上国において、専門家派遣、各種研修の実施、海外協力隊派遣等を通じて、母子手帳の導入・展開がされ約50カ国・地域で使用しており世界年間出生数1.4億人の16%、年間約2,200万冊が母親の手に届けられています。5歳未満の子どもの命を落とす原因は栄養失調、適切な医療や衛生設備の欠如等、どれも予防可能なものばかりで、それらの原因で母と子どもが命を落とす事などあってはならないと、私たちロータリアンは考えます。

全ての母子が質の高い医療を受けられ出産で命を落とす母親がいなくなり、子どもがすくすくと成長できるように、更なる支援活動を行っていかねばなりません。ロータリー財団でもロータリアンが以下の形で母子の健康を改善するのを支援しています。

- ・5歳未満の幼児の死亡率と罹患率の削減
- ・妊婦の死亡率と罹患率の削減
- ・母子に対する基本的な医療サービスの提供、地域社会の医療/保健関係のリーダーと医療提供者を対象とした母子の健康に関する研修
- ・母子の健康に関連した仕事で活躍する事を目指す専門職業人のための奨学金の支援などです。

先ほども申し上げましたが、SDGsでも母子の健康を守る目標が立てられています。問題の中心地ともいえる開発途上国では貧困や医療不足、女性の地位の低さなどが影響し、解決は決して簡単なことではありません。国際ロータリーをはじめとした様々な団体の活動が世界中で行われ、改善の兆しが見えてきている地域もありますが目標の2030年まで時間が迫る中、更なる活発な取り組みの増加と状況の改善が願われます。

<幹事報告>

◎RI日本事務局より

・4月のロータリーレートについて 1ドル133円(3月136円)

◎ガバナー、ガバナーエレクトより

・次期会員増強セミナー開催のお知らせ

日 時	5月13日(土)	点鐘11:00 終了14:45
場 所	岐阜グランドホテル 岐阜市長良648	
出席義務者	次期会長・幹事・会員増強関連委員長、多様性関連会員、新会員	

◎濃飛グループ次期ガバナー補佐より

・濃飛グループ次期会長・幹事懇談会開催のご案内

日 時	5月17日(水)	11:00~
会 場	下呂温泉ホテル水明館	

例会報告

◎ガバナーエレクトより

- ・2023-2024年度テーマ入ネクタイ送付のご案内
- ・2023年度地区大会スケジュール(案)について

日時 11月17日(金) 基調講演 15:40~RI 会長晩餐会 17:10~
会場 名古屋観光ホテル

日時 11月18日(土)開会 12:00 記念講演 13:35 懇親会 17:30~
会場 パロー文化ホール、セラミックパークMINO

◎(公財)米山梅吉記念館より

- ・春季例祭のご案内および賛助会員募集 等

日時 4月22日(土) 14:00~ 会場 米山梅吉記念館ホール

<例会変更>

高山 ... 4月27日(木)は、規定休会

高山中央 ... 4月24日(月)は、定款により 休会

<受贈誌>

高山RC(会報)、高山中央RC(会報)、下呂RC(会報)、RI
日本事務局(財団室NEWS2023年4月号)、米山梅吉記念館(館
報41号)、(社)高山市文化協会(広報高山の文化No243)、岐
阜県環境生活部人権施策推進課長(人権だよりNo92)

<出席報告>

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
27名	-	27名	35名	77.14%

<今月のお祝い>

◎会員誕生日

内田 幸洋 4. 17
斎藤 章 4. 30
下屋 勝比古 4. 13
松田 康弘 4. 17
井口 大輔 4. 20

◎夫人誕生日

斎藤 章 厚子さん 4. 5
向井 公規 祐子さん 4. 22
榎坂 純一 真弓さん 4. 20

◎結婚記念日

挾土 貞吉 S42. 4. 7
田中 晶洋 H6. 4. 16
井口 大輔 H14. 4. 4

◎出席表彰

米澤 久二 22年

◎在籍周年記念表彰

新井 典仁 10年

◎3ヶ月表彰

- ・垣内 秀文 ・下屋 勝比古 ・杉山 和宏 ・堀 幸一郎
- ・松田 康弘 ・米澤 久二

<本日のプログラム> 会員スピーチ

榎坂 純一

皆様、こんにちは。お久しぶりです。私は2022年1月1日から2023年5月末までの1年半、本業に集中するため、休会をさせていただいておりました。この3年間、コロナウイルスの影響により、観光業界は大きな打撃を受けました。当社も例外なく大きな影響を受け、売上ゼロの月が何カ月も続きました。しかし、2023年になり外国人観光客の数も増え、復活の兆しが見え始めました。最近ではコロナ前の2019年を凌ぐ売上を記録し、一安心しています。

現在、当社は観光事業だけでなく、インターネットショップの運営もしています。ネットショップではペットグッズを販売しており、ペット市場の市場規模は約1.7兆円ととても大きな市場ですが、その分ライバルが多く、厳しい戦いを強いられています。しかし、少しずつ売上が増えはじめ、2024年中に平均月商300万を目指し、今年一年より一層頑張る必要があります。

今後、観光事業のV字回復の兆しが見える中、人手不足が継続的に問題となると確信しています。当社も人手不足に悩まされており、ネットショップに力を入れた理由の一つが、土日出勤ができる人を集めるのがとてもハードルが高いためです。今や実店舗は、「働き手を確保する」という競争に変わりつつあり、悩んでいる方も多いことと思います。

そのため、当社ではDXを取り入れ、コロナ禍でお店の営業ができない時期に経理システムの導入、テイクアウト店では券売機の導入を行いました。これにより、煩わしかった業務が圧縮され、効率的な業務運営ができるようになりました。今後もテクノロジーの力を借りて、業務量を圧縮するとともに、ネットショップでしっかり利益を出していくことが課題となります。

高井 道子

今日は、卓話の機会を設けていただき、ありがとうございます。まず最初に、長い間なかなか定例会に出席できなかったことお詫びいたします。申し訳ありませんでした。また、米澤さんや会長、幹事さんたちが、事務所まで来てくださり、お顔を見せてくださったので、うれしかったです。わざわざ足を運んでくださり、ありがとうございました。

もう一つ会員の皆さんには、今年1月ラインで、いきなりクラウドファンディングのお知らせで、びっくりされたと思います。初めてでしたので、知っているグループ全部にラインで送りましたが、おかげさまで寄附金が目標達成でき朝日町のグループホームをリニューアルできました。

コロナが流行してから、職員に自粛をお願いし、利用者様のご家族の面会も断って防いできましたが、昨年9月に小規模多機能の施設の一つにクラスターが出ました。利用者様7人、スタッフ8人、次々感染して外見の元気そうな利用者様は90歳でも入院させてもらえず、最小限のスタッフで支援を続け、何とか乗り越えました。それ以来、ニアミスはあっても、クラスターは出さずに済み現在に至っています。日々緊張を強いられる3年間でしたので、長期の欠席もご理解ください。

さて、本題に入ります。平成15年に朝日村に認知症の方のためのグループホームをオープンしてから今年でほのぼの朝日ネットワークも20周年を迎えました。現在でも約180人の利用者様とお付き合いさせていただいています。看取りも全施設で数十人ぐらいさせていただいたと思います。

例会報告

認知症の方たちとお付き合いさせていただいて 20 年、どうい
う支援をしてきたか彼らから学んだことを一部だけお伝えしたいと
思います。

認知症になると、人生が途切れて変わってしまうと私たちは思い
がちなのですが、そんなことはないです。認知症という診断が下つ
ても、その方の人生は昨日と変わりなく続いているということ。そ
して認知症の方は今を生きているということ。これからお話しする
のはグループホームに入居された荘川村に住んでいらした元教員
の男性の事例です。

入居した当初「野垂れ死にしたっていいから自分の家にいたい」
と言われました。いろいろありましたが、雪が解けたら自宅へ送っ
ていくという約束で落ち着かれ、半年後の 5 月「自宅へ帰ります
か？」と伺ったら「もういいよ。」と言われほのぼので暮らしてい
くと決心されたので、私が、「この家でこれからどう生きていき
たいですか？」と質問した時に、「僕はね、絵と歌で人を楽しませ
たいんだよ。」とご自身の言葉で、そういわれたんです。私は、「わ
かりました。では、芸能祭とか出られますか？」という、「うん、
出るよ」「なにを歌われますか？」「目ん無い千鳥と籠の鳥」

すぐに練習に取り掛かり、その年の10月に朝日村の芸能祭に、
スタッフと一緒に出演しました。目ん無い千鳥の歌いだしは、震
えてみえましたが、そのうち朗朗と歌われ、終わったときには、も
のすごい拍手でした。朝日の住人（おばさんたち）が駆け寄って
きて「感動した」と言って握手を求めてきたんです。彼は、感激して
涙を流していました。私ももらい泣きをしてしまいました。その後、
ボランティア団体の総会とか認知症のセミナーなどに、彼とスタッ
フと各務原や古川に出かけて感動を呼びました。

彼がきっかけとなり、ほのぼのの生きがい支援が生まれました。
グループホームオープン翌年です。たとえ認知症になっても生き
がいをもって人生を続けていける。認知症の方とどう付き合ってい
けば穏やかで、生き生きと暮らしていただけるか模索していた私
たちに 最適な答えを与えてくれました。認知症になると自分の思っ
ていることを的確に表現できなくなることは、事実です。なかなか
つかめないことはあります。でも、認知症の方は、時々神経がつか
なることがあり、ご自分の話ができることもあるんです。また、そ
の方の今までの暮らしのスタイル、それまでの生き方、性格を理解
して何を希望されているのかを推察して話も伺う、そうするとその
方がどう生きていきたいかつかめるようになります。

「家族に迷惑をかけないで過ごしたい」、「何か人の役に立つこと
をしたい」、皆さんと思っていらっしゃることは同じです。ただ、
違うのは、ご自分がしたことを忘れてしまうその点だけです。そ
のために、今何をしたいのか、何をするのが大切になります。過
去も未来もなく、この今の一瞬一瞬が快適で、したいことをできる、
そういう過ごし方（生き方）の積み重ねで認知症の方でも輝いた人
生を送れるのだと私は思っています。

「認知症になっても暮らしは続き、今を生きることが出来る」こ
れを支援することが私たちの役割、これが私が認知症の方たちか
ら学んだことです。

つたない卓話でしたが、ご清聴ありがとうございました。

<ニコニコボックス>

●垣内 秀文さん、大村 貴之さん

本日は会員スピーチ例会として、休会中の榎坂さん、久し振りに例
会会場に復帰された高井さんに、近況報告を含め卓話をして頂きま
す。榎坂さん高井さん、よろしくお願いします。

●高井 道子さん

長い間リアルで出席できず申し訳ありませんでした。ライン等で皆
様のご活躍、陰ながら応援していました。今月からは出席できると
思いますのでよろしくお願ひいたします。

●阪下 六代さん、内田 幸洋さん、米澤 久二さん、松田 康弘さん

コロナの影響でしばらくお休みされていた高井さん、お帰りな
さい。4月1日に秋田への異動を命じられまして、誠に残念ですが高
山を離れることになりました。皆様には大変お世話になりました。
ロータリアンの志を持って、次の仕事も邁進します！

●狹土 貞吉さん

WBC侍ジャパン優勝バンザイ！大谷翔平バンザイ！！

●齋藤 章さん

4月5日の妻の誕生日に素敵な花をありがとうございます。私も
4月生まれでお祝い頂きありがとうございます。

●塚本 直人さん

今日は高校の入学式ですが、桜が散りかけて残念です。先日東小の
児童の前で少年補導員で作る『トンボ座』の一員として寸劇を行い、
連れ去り魔の役で登場した場面が岐阜新聞に採り上げられた様で
す。恥ずかしいですが反響がありましたのご報告です。ありがと
うございます。

●下屋 勝比古さん

4月15日地区研修協議会に参加して頂く方、宜しくお願ひします。

●岡田 賛三さん、田近 毅さん、内田 幸洋さん、田中 武さん、

杉山 和宏さん、中島 一成さん、堀 幸一郎さん

4月は卯月、正にウサギ年のウサギの月です。中橋の桜は満開とな
り、まさに春爛漫！飛躍の月にしましょう。海外から高山に観光客
がドッと押し寄せていっぱいです。元交換留学生のノエミ家族も来
日し11日に高山入りするのを楽しみにしています。新年度となり
新入社員や異動で高山に来られる方も多くなります。高山に来てよ
かったと言ってもらえる街や人でいたい。お天気が心配ですが、
今年こそは桜舞い散る高山祭の引き別れを楽しみたいと願ひます。
今年度ももう少し、親睦と奉仕で笑顔あふれるクラブを楽しみま
しょう！